

1泊3000円外国人来れ

埼玉のバス会社がゲストハウス



ゲストハウス「WASABI日暮里」は和をイメージ

バス会社の平成エンタープライズ(埼玉県富士見市)は、外国人向けの宿泊業に参入する。第1弾として東京・日暮里に割安なゲストハウスをオープン、3年以内に東京や大阪など都市部で10店舗ほど展開する計画だ。低予算で旅行する外国人観光客は多く、2020年の東京五輪に向け、手頃な料金で泊まれるゲストハウスの需要は高まりそうだ。

まず日暮里、都市部に展開 五輪視野、バスと連携

JR三河島駅近くに8月、ゲストハウス「WASABI日暮里」を開業

した。かつてビジネスホテルだった建物を約200万円かけて改装した。相部屋と個室を用意、約70人が宿泊できる。料金は1泊約3000円から。日本特有の文化で、外国人にも人気が高い大浴場を設置した。浴室の壁画には富士山の絵、トイレの内装には舞妓(まいこ)など日本の風景を描く。

英語や中国語に対応するスタッフを配置。無料の公衆無線LAN「WiFi-Fi(ワイファイ)」を整備し、ロビーには24時間利用できるパソコンを設置する。紅茶やインスタントの味噌汁も無料で飲める。

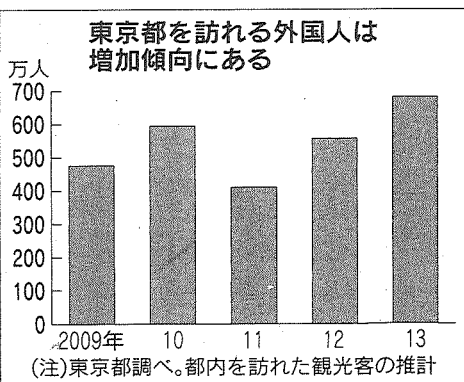
1号店は交通アクセスの良さに着目した。都内と成田空港を結ぶ京成ス

▼ゲストハウス ホテルより設備が簡素で料金安い宿泊施設。一般に風呂やトイレは共用で、食事は提供しないこともある。1部屋に4〜10人ほど泊まれる。ミトリと呼ばれる相部屋形式を取り入れる宿が多い。旅館業法上は簡易宿所にあたり、設置には都道府県知事(特別区では区長)の許可が必要となる。

同社は東京―京都・大阪などを結ぶ高速バスを運行。外国人バックパッカーは料金の安い高速バスで移動することが多く、バスと宿泊をセットにした割安プランを販売し、ゲストハウスとの相乗効果を高める。近年は高速バスの価格競争も激しく、新事業への参入で経営の安定化を目指している。

円安追い風、外国人誘客好調

バックパッカーにらむ



円安などを追い風に、東京都を訪れる外国人観光客は増えている。2013年は前年比22.5%

最高を更新。観光客の中には食事や買い物、観光地の見学などにお金をかけつつ、宿泊費を抑える人も少なくない。旅行情報サイトを運営するトリップアドバイザー(東京・渋谷)の担当者は「今までは東南アジアや中国を訪れていたバックパッカーが日本にも来るようになった。安価な宿泊施設の人気は高まっている」と述べる。

「カンガルーホテル」のオーナーの小菅文雄氏は「夏は利用者の9割が外国人。英語ができないとやっていけない」と語る。東京五輪に向けさらに多くのバックパッカーが世界各国から訪れることが予想され、受け入れ態勢の整備が課題となっている。

都、容積率の制限緩和

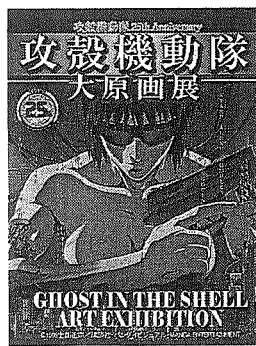
有明地区五輪に向け計画見直し

東京都は2020年五輪を控えて、有明地区の容積率制限を見直し、住宅利用が進む北側のエリアに誘導する。

西武池袋本店(東京・豊島)は8月20日、海外でも人気の高い漫画「攻殻機動隊」の原画展を開く。

「攻殻機動隊」など300点

池袋本店が展示



の来場を見込んで、つかけに海外でも高い評

原画展のチラシ©1995士郎正宗 講談社・バンダイビジュアル・MANGA ENTERTAINMENT

発達した近未来の日本を描いたSF漫画。95年四半世紀の歴史を振り返ってもらう。

入場料は一般が800